

新たな馬の改良増殖目標の主な変更点（案）

現行目標（H32年度）

- ・農用馬、競走用馬、乗用馬の各用途に応じた改良と需要動向に応じた生産の推進
- ・能力評価手法の開発等

課題、方向性

- 【農用馬】生産率の低下等を受けた生産基盤の脆弱化、能力評価手法が未確立
- 【競走用馬】競走能力の向上
- 【乗用馬】利用目的の多様化への対応、能力評価手法が未確立

新たな目標（H37年度）

- ・能力評価手法の活用等も視野に入れた需要に即した改良の推進
- ・適切な飼養管理と多様な利活用に関する情報共有の推進

- 定性的な目標**
- 能力
 - 農用馬
強健性等の向上。繁殖雌馬にあつては、繁殖開始年齢、受胎率、生産率の向上を図る。
 - 競走用馬
国際競争力をもつ、スピードと持久力に優れた競走能力の高いもの。
 - 乗用馬
強健性の向上。競技馬にあつては飛越力、持久力等に優れたもの。
 - 体型
肢蹄が強く、体各部の均称の良いもの。それぞれの用途や品種の特性に応じた体型とする。
 - 能力評価方法の開発等。

- 能力
 - 農用馬（重種馬）
強健性等の向上。繁殖雌馬にあつては、適切な飼養管理により、流産や分娩事故の低減等を図りつつ、繁殖開始年齢[※]、受胎率、生産率等の向上を図る。
[※]繁殖を開始する際は、雌馬の単房等による適切な飼養管理と発育状況に配慮する等に留意。
 - 競走用馬（軽種馬）
国際的に通用する、スピードと持久力に優れた競走能力の高いもの。
 - 乗用馬
強健性の向上。競技馬にあつては飛越力、持久力等に優れたもの。
- 体型
肢蹄が強く、体各部の均称の良いもの。それぞれの用途や品種の特性に応じた体型とする。
- 能力評価方法の確立に向けた取組の推進及びその活用方策の検討等
- 多様な利活用に関する情報収集・共有に努め、利用目的毎の需要に即した国内産馬の安定的な生産と供給を推進。

定量的な目標

【農用馬】	〈現在値〉	〈目標値〉
繁殖開始年齢 2才の割合	41%	50%
（受胎率）	71%	75%
（生産率）	61%	65%

- 【農用馬】**
- 繁殖開始年齢2才の割合
繁殖開始年齢の早期化を図る上で、留意点すべき事項を記載するとともに、目標数値については、近年のトレンド等を踏まえて変更。
 - 受胎率及び生産率
近年のトレンド等も鑑み、現行目標を据え置き。